

## <言葉の理解力・知識の確認>

= 本当の理解と認識になってますか =

スイッチでは物事を伝える時に、敢えて「曖昧や抽象的」な言葉で伝えています。また、初めてやることはとにかく、目標とする状況を挑戦してみて、「どこでつまづくのか」を確認して、その部分を追求して繋げていくという方法を行っています。出来ない事、分かっていない事に関して、「そもそもの要因を知ること」です。

既に何度か経験をしている事、本人が自己表現として使っている言葉や態度などに関しては、「どう理解をして使っているか」を確認しています。

そこから何が見えるか…。 言葉や行動をニュアンスで覚えていて本当の意味を知らずに使い行動している。

だから…。 応用とレベルアップに繋がり難い。 → 大人は分かっていると思っているので「イライラする」現象が起こります。

- 「卓上(紙)での認識と実際の認識がマッチングして(繋がって)いない」

Ex: 「時計の認識」 → 卓上(絵)での正解率は高いが、実際の時計では理解しにくい。

- 「手順表があれば出来るけど、口頭指示だけでは理解が出来ない」

Ex: 「作業」 → 手順表や順番通りに物が置かれていれば出来るが、それがないと作業が進まない。

- 「言葉のある程度使いこなせているが、状況にきちんと適した言葉になっていない」

Ex: 「お願いします」「貸してください」「ありがとうございました」など、状況によって使い方が難しい言葉を正確に使えない。  
何てことありませんか？

\* 学生時代は得意不得意(こだわり等)も関係なく、経験をさせる。

\* 失敗はカッコ悪くない事を伝える

\* 出来た事を「出来る」と過信しないで、「理解度」を知る。

\* 正しい使い方などをきちんと伝える。

スイッチでは、上記の事などを重視し、本当のカ(スキル)に繋げるフォローをしています！

## <言葉と行動のマッチング&聞き取りトレーニング>

「ゆつくり(又は丁寧)と早く(急ぐ)」の言葉と行動のマッチングと指示の聞き分けのトレーニングをしました。

- <言葉と行動のマッチング>

\* 「早く(急ぐ)」 → ビーズやパズル、ヒモ通しなどを何人かで行い、競争心を仰ぎつつ「早く(急ぐ)」を知る。

\* 「ゆつくり」 → 走る歩く、しゃべるスピードで「ゆつくり」を知る。

- <聞き取りトレーニング>

\* 聞き取りトレーニング → 広場で、①誰に言っているのか ②指示は何なのか ③どう行動すればいいのかを考える事のスキルアップの為のトレーニングです。

どちらも、流れが分かると出来ます。流れを察する力は流石です☆ ただ、これが他の場面・状況でも出来るようにならないと意味がないのです。どんなことでもそうです。学び身に付けたことを様々な場面と状況で応用できるところまでを目標としたいですね！ 結局、聞き取りが出来ない、苦手という要因は「集中力です」。集中力をいかに上げるかがキーポイントです。また、言葉の理解も重要です。言葉が分からないならば、尚更聞きなれる事は大事な事です。